# 指定管理者評価シート

事業名 軽費老人ホーム(B型)管理費 所管課(電話番号) 保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課(211-2972)

## I 基本情報

1 施設の概要							
名称	札幌市拓寿園(軽費老人ホームB型)	所在地	札幌市北区屯田7条7丁目1-22				
開設時期	昭和50年3月	延床面積	1,441.28m <sup>2</sup>				
目的	家庭環境、住宅環境等の理由により居宅において生活することが困難な老人を低額な料金で入居させ、日常生活上必要な便宜(食事提供を除く)を供与し、老人が健康で明るい生活が送れるようにすること。						
事業概要	入所者処遇						
主要施設	事務室、応接室、当直室、ボイラー室、浴 便所、居間(1人部屋42室、2人部屋4室)		洗濯室、集会室、娯楽室、物品庫、物置、				
2 指定管理者							
名称	社会福祉法人札幌慈啓会						
指定期間	令和5年4月1日~令和10年3月31日						
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:入所者に対し適切なサービスを提供するためには、入所者と施設職員 との間に継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理者が変更されると、拓寿園の管 理運営に重大な支障をきたす恐れがあるため、非公募としている。						
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:						
業務の範囲	(1)施設の維持及び管理に関する業務 (2)老人福祉法第20条の6に規定する目的のために行う事業の計画及び実施に関する業務 (3)施設の利用等に関する業務 (4)(1)~(3)の業務に付随する業務						
3 評価単位	施設数:単独 複数施設を一括評価の場合、その理由:						

## Ⅱ 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求な	K準達成度		
	▽ 管理運営に係る基本方針の策定		A B C D
(1)統括管 理業務	法人理念「共生ともいき」に基づき、入居者個人の尊厳及び意思を尊重し、安心かつ安全な生活を営むことができるよう、身体的・精神的なサポートを実施して、入居者が地域社会の一員として自立できることを基本方針としている。	共生の精神に則り、 入居者が安心して 安全な生活ができ るよう、差別するこ となく平等に処遇す ることができた。	仕様書に沿った適切な管理運営がなされている。また、職員間の情報共有を密にし、入
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績		につなげている点 が評価できる。
	老人ホーム条例に基づく利用申出に対しては、何人によらず拒まないことを基本方針としている。職員には性別、年令、社会的身分等によって入居の可否判断をしないよう徹底している。また入居後においても、信条、宗教、身体的・精神的状況等の違いにより施設生活が制限されないよう配慮している。	条例の趣旨を尊重 し入居の判断を 行っている。	

#### ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

事業活動における環境への負荷の低減に心がけ、二酸 化炭素の排出削減を事業活動のあらゆる場面で考慮し ている。具体的には、冬季にも夜間暖房を一時的に停止 者、職員ともに節電 する、日中照明を間引きする等を実施している。

日頃から環境への 配慮を心がけ入居 節約の意識を持つ て生活することがで きた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従 事者の確保・配置、人材育成)

業務分担、連絡系統などについて再度確認した。職員の【内部、外部の研修 資質向上をめざし、内部研修(事故防止、感染症予防 等)の実施。法人研修はZOOMにより参加した。

を受けることによ り、人材のスキルが アップしていると実 感できる。

### ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

緊急時、入居者の安全確保のため本部職員の応援体制 職員3人が職種を を作っている。また、入居者の生活の質向上に向け、引 き続き介護予防等を実施し自炊生活を維持できるよう取 ができている。 り組んでいる。

越えて連携すること

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確 保、受託者への適切監督、履行確認)

施設の管理業務、清掃等を第三者に委託している。担当【委託業者との連絡 業務員の病欠の際には、交代要員を出させ、適正実施 を確保した。

を密にし、業務の適 正実施を確認した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等 の開催)

#### •全体懇談会

工作心队五	
開催回	協議・報告内容
月1回	集会室への集いができないため、連 絡事項や注意喚起についての文書を 配布。

<協議会メンバー>

入居者、拓寿園職員

#### •運営協議会

3月に札幌市の担当者や地域の代表者等から施設 の運営について意見、施設の地域参加についての 意見を伺い、入居者からは10年以上入居の方2名に 参加頂き、ご意見を頂く。

コロナ明けでの動きが なかなかできていない が、生活そのものに対 しての不満は聞かれ ず、地域に対してのア プローチを考えていき たい。

### ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

公認会計士等による外部会計監査を実施している。法人厳正的確に管理す 本部による例月審査を行っている。会計責任者及び出納ることができた。 職員を置き、小口現金、預金の相互チェックを行い、引き 続き不祥事防止を図っている。

#### ▽ 要望・苦情対応

法人規定に基づき苦情解決責任者及び苦情受付担当 者を設置し、施設内掲示にて入居者に対し苦情解決の 仕組みを周知している。常時「意見箱」を集会室に置き、 苦情、要望の収集に努めている。(意見箱投書件数、6年 助することができ 度は0件)

随時、相談に応じ、 入居者間の理解と 親和を深めるよう援 た。

	ングの実施	=ニタリング・報 、事業報告、ホ					
		の日々の細か が記録入力し、				記録の入力漏れないよう心掛け実施できた。	
(2)労働関 係法令遵守、		係法令遵守、原 衛生面を含む		<b>挂持向上</b> (3	事故の有無		A B C D 各種法令を遵守
屋用環境維持向上 持向上	する協定)を		員が業務上	ニ負傷し、	あるいは疾	労働時間を管理することができた。	を性点りを受り し、適切に労働時間の管理ができている。
(3)施設・設 備等の維持		事項(利用者 <i>0</i> 連絡体制確保			ービス向上		A B C D 仕様書に沿って施
管理業務		)点検を年2回3 様書に適合した した。				防災啓発として「火 の用心だより」を個 別に配布した。	設及び設備の維持管理を行っている。
		设備等の維持管理、駐車場管理			·守点検、修		
	約条項に則 点検・整備:	夜間管理など( り、適切に実が を図った。通常 回)。床ワックス	をした。日常 清掃業務	常的に園 (週3回)。	内・園外の	保守点検などは法令厳守の上実施できた。	
	▽防災		7		340-4 · B		
	に実施。2月 非常時用と	:則り、9月と2月 月にも避難訓練 して、ポータブ   宇常食、飲料に  を行った。	東及び防災 ルトイレ及	訓練を実びトイレド	施した。 月凝固シー	安全面、危機管理 面の対策について は、職員の意識向 上はもとより、入居 者に対しても注意 喚起を働きかけるこ とができた。	
(4)事業の計 画・実施業務		策に関する学					A B C D
四 天池末初	' 価性刑段	講話会」を月1  面の間中止と		こいたが、	集会を開け	介護保険等の個別 のケースについて 相談対応している。	意識付けを個別
		策に関する情報					相談・家族相談等 で行っている点が
		、近隣の福祉施 との参考として打			収集し、入		評価できる。
	▽ 福祉施賃	<b>策に関する市民</b>	の自主活動	)及び交流	の支援業務		
	自主活動及び交流については感染予防のため中止とした。買い物支援については、継続して実施。個別ではあるが地区センターの活動を再開している。 ▽ 福祉施策に関する相談業務						
		相談、家族相詞 いてアドバイス			去した後の		
(5)施設利用に関する業	▽ 利用件	数等				<b>十</b> 司の利田児光の	A B C D
務		件数(件)			R6年度実績	左記の利用促進の 取組みを行い、個	前年比で稼働率 の低下が見受け
	   個室	人数(人)	372 31	432 36	363	室や夫婦室の問合 せ、見学者を得るこ	られる。稼働率向 上に努めてほしい
		稼働率(%)	73.8	85.71	72.02	とができた。	
		件数(件)	14	48	0		
	夫婦室	人数(人)	2	4	0		
		稼働率(%)	14.58	50	0		

	_				_	_
		とは月ごとの利は月平均利用	用者数の積算   考数の値	0		
				⋰≝┟╻╟		
	∨ 小承認    ▽ 利用促		)件、 減免0件	、湿扒∪件		
			∡部会のホームへ	ページに空室情報		
	を掲載した。	屯田地区センター	ーヘパンフレット	設置した。見学時		
		午の催認と、面記 れるように対応し	炎を行い、希望が た。	めれいよりくに人		
(6)付随業務	▽ 広報業	 務				A B C D
			いのwebアクシ	ビリティ方針を		仕様書に基づい て、適切に業務を
	策定掲載し	ている。				行っている。
	1 根士姜藕	<b>≠.</b> 赵弗 <b>耂</b> ↓+_	-ム部会に当園	11時号が占っづ	札幌市社会福祉協 議会のホームペー	
		き・軽負名人かっ として参加した。		当似貝 //・・ノエノ	ジの更新等に貢献	
					した。	
	▽ 引継ぎ	業務				
2 白主東米ス	なし					
2 自主事業その					l	A B C 5
┃┃		)利田に上い小:	衆電話の利用等	<b>と結か</b> し		A B C D 可能な限り市内企
		国祉施策への西		▽小児′みし	第三者委託業務等	業へ発注するな
					は可能な限り市内	ど、地元企業への 配慮が見られた。
			企業に発注して 材センターに委	いる。夜間・休 託した。	企業に発注するよう 心掛けた。	HOMEN 70-24 01-0
3 利用者の満足	足度					
▽ 利用者ア:	ンケートの結	 果				A B C D
			低配布により実施	沲。	今後も入居者の健康が共産人のは	昨年度と比較し、
法		]答、回収率10			康維持増進(身体的、精神的)をサ	全体的に満足度 が上昇している点
結果概 要			に対し結果100		ポートしていく。	は評価できる。入
			[90%に対し結り			浴についてのみ 昨年度より10%下
	・設備環境について、91%が満足、ほぼ満足、普通と回答。					落しているため、 満足度の向上に
			満足、ほぼ満足			満足度の向上に 務めてほしい。
		•	が満足、ほぼ満足			
	-		詩足、ほぼ満足,			
			満足、ほぼ満足			
	・全体的に、100%が満足、ほぼ満足,普通と回答。					
利用者   からの	【自由意見】職員への感謝					
意見·要	意見・要 【対応】なし・外物置の施錠時間を夏は遅くしてほしい・					
望とそ 洗濯室のドアを日中は開けたままにしてほしい・それ						
27,1,10						
4 収支状況				,	ı	
▽収支	<del></del>			(千円)	加古油質について	A B C D 計画的な予算執
	<b>頁目</b>	R6年度計画		差(決算-計画)	収支決算について は、適正に執行し	計画的な予算報 行がなされてい
収入	/s/s τ = Ψε σ/s ·! =	37,339	38,601	1,262	<i>t</i> =.	る。
	管理業務収入	37,339	38,601	1,262		
	指定管理費	37,329	38,561	1,232		
	ᆀᄆᄵᄾ	_	_			
	利用料金	0	0 40	30		

	自主事業収入	0	0	0
支出	1	36,319	35,706	<b>▲</b> 613
	指定管理業務支出	36,319	35,706	<b>▲</b> 613
	自主事業支出	0	0	0
収入	、-支出	1,020	2,895	1,875
利益	還元	0	0	0
法人税等		0	0	0
純利益		1,020	2,895	1,875

#### ▽ 説明

収入について、「指定管理費」は、協定に基づき執行されている。令和6年度の光熱費高騰による増額分1,163千円、賃金スライド分19千円が追加されている。収入の「その他の収入」については、広報さっぽろ配布謝礼金である。「自主事業」は実績なし。支出については、光熱費(電気・ガス・水道・灯油)の使用量は減少したが昨年より単価高騰のため支出は変わらず。全体としては収支差2,895千円となった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。	
▽ 安定経営能力の維持	適不適
当法人は7つの老人施設、1つの病院、2つの地域包括支援センター、 1つの保育園を運営しており、経営能力は安定的である。	
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン 条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	
それぞれの条例の規定に則り、適切に対応している。情報公開請求は 今年度も無かった。	

## 皿 総合評価

【指定管理者の自己評価】					
総合評価	来年度以降の重点取組事項				
自炊型施設である当園での生活を安心安全に送れるよう環境整備に積極的に取り組んでいる。 入居者の体調管理に重点を置き、毎日の検温や体調確認などを行い、早期の対応に取り組んでいる。福祉会館にて「介護予防教室」「ふまねっと運動」を実施している。設備として、配管の水漏れが数件発生し、緊急修繕を行っている。運営協議会を通じて町内会や地域活動の参加について協議を行った。	体力維持や栄養バランスに気を付けて生活を送っていただけるよう情報提供など支援していきたい。 地域の一員として一層認知されるよう町内会や地域の福祉団体、学校等との交流を深めていきたい。 個室、2人部屋に空きが発生しているため、近隣地域の機関紙への広告掲載や包括支援センターなどに対する PRに努めたい。 建物及び設備の老朽化に伴う補修について、入居者の生活に影響が無いよう実施していきたい。				

【所管局の評価】				
総合評価	改善指導·指示事項			
	夫婦室について、昨年度と比較し大幅な稼働率の低下が見受けられるため、見学や問い合わせから入居に繋がるよう務める必要がある。			